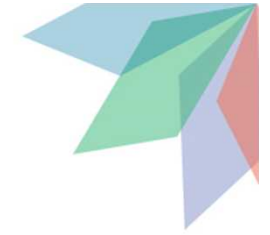




茨城県

# 茨城県職員等採用 高校卒業程度試験 説明会

令和6年7月7日  
茨城県人事委員会事務局



# 今回説明する内容

1. 県の業務内容
2. 仕事の環境
3. 採用試験



# 1. 県の業務内容

# 国・県・市町村の仕事（イメージ）



項目	市町村	県	国	備考
住民との接点				<ul style="list-style-type: none"> <li>県の仕事は関係企業や団体との接点が多い。</li> <li>部署（本庁/出先）や仕事内容による差異も大きい。</li> </ul>
仕事の範囲（全体）				<ul style="list-style-type: none"> <li>国は経済政策から外交まであらゆる領域を対象</li> <li>県は広域にわたる課題に対応</li> <li>市町村は住民向け業務が多い</li> </ul>
仕事の範囲（一人ひとり）				<ul style="list-style-type: none"> <li>国は狭い分野に特化する傾向</li> <li>市町村では幅広い知識を備えることが求められる(広く浅く)</li> </ul>
政策の企画立案				<ul style="list-style-type: none"> <li>地方が独自で政策を創っていく機会が増えており、広域である県の果たす役割は大きい。</li> </ul>

※ あくまで説明者個人の印象をイメージ化したものです。

# 茨城県の仕事の特長

## ① 幅広い分野を経験

- ✓ 事務職は産業、福祉、土木など様々な分野を経験  
仕事を通じて新たな関心や適性を発見することも
- ✓ 技術職も民間と比べて業務の対象範囲は広い

土木：計画～完成～維持管理    農業：行政・普及・研究・教育

## ② ダイナミックな仕事もルーティンも

- ✓ 県産品（梨・常陸牛等）の輸出、企業誘致、まちづくり
- ✓ 窓口業務、補助金の手続、統計調査
- ✓ 市町村をまたいだ広域的な仕事が多い

## ③ 仕事とプライベートのバランスが取りやすい

- ✓ テレワーク、時差出勤、フレックスタイム制など、柔軟な働き方
- ✓ 電子決裁やICTの積極導入などで業務効率化  
→ 残業縮減・休暇取得促進

のびしろ  
日本一!?

茨城県

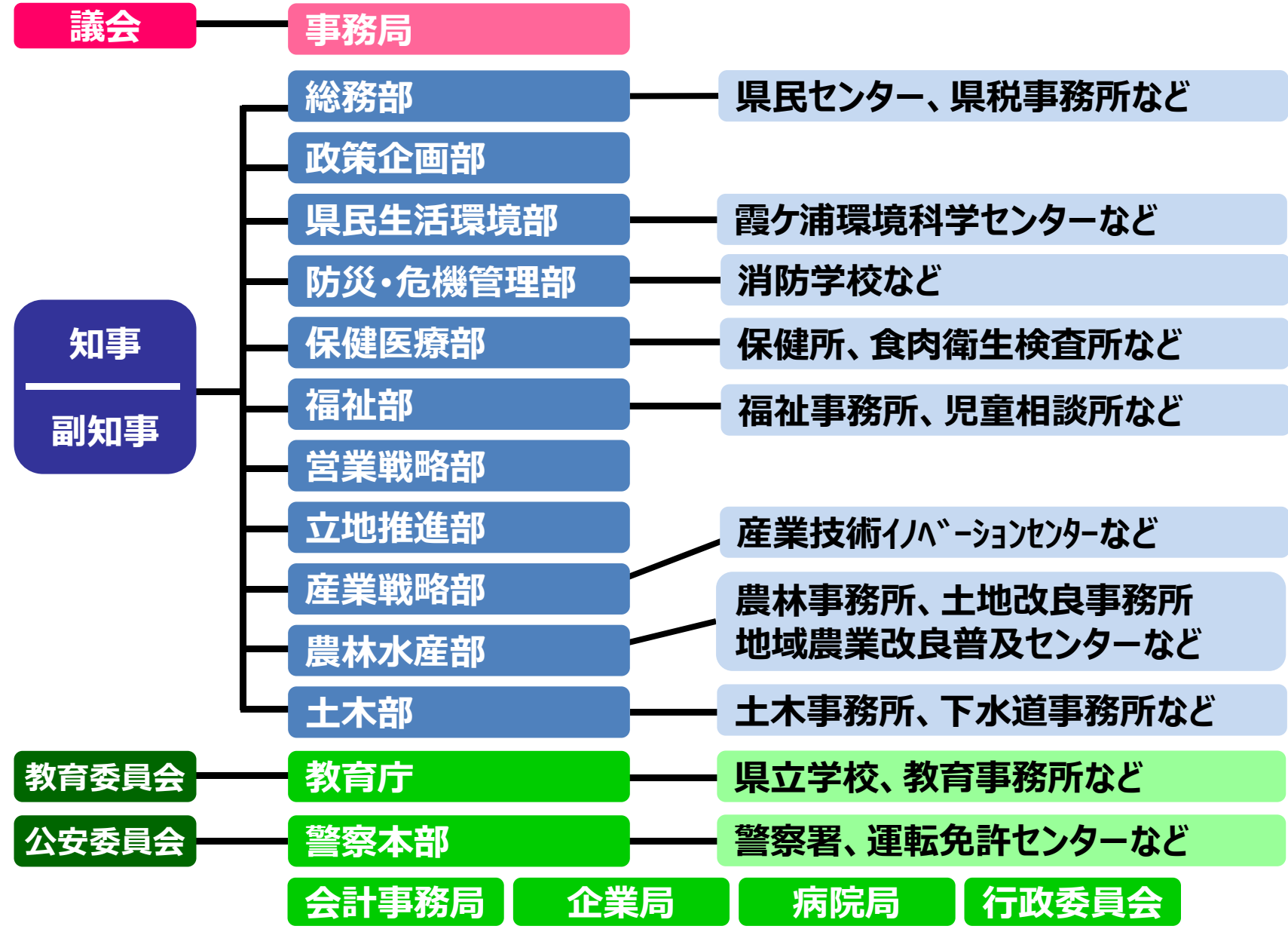


# 県の業務内容（職種別）

職種	特色	主な業務内容	主な勤務課所
<b>事務</b> (知事部局等)	県行政のあらゆる分野で様々な仕事に携わることができる。	施策の企画・推進 条例・規則の制定 申請に対する許認可 用地買収、税金徴収 イベント運営 など	知事部局や教育委員会等の本庁 又は出先機関
<b>事務</b> (警察本部)	警察官と一緒に仕事をし、警察に関わるすべての事務に携わる。	施策の企画・推進 予算の編成・執行 申請に対する許認可 鑑識、少年サポート システム開発 など	警察本部 警察署(27カ所) ※知事部局等との 人事交流はなし
様々な <b>技術職</b> (電気、機械、土木、建築など)	専門知識を生かして特定の分野で仕事の経験を積んでいく。	工事設計・施工管理(土木等) 技術普及・現地指導や研究 (農業、畜産、林業、水産、 獣医師等) 児童福祉(福祉、心理) ※一般行政事務の経験も積む	知事部局等の本庁 又は出先機関



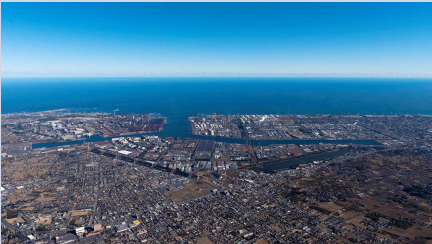



# 県の組織（令和6年度）



！加速する人口減少                      ！超高齢社会への対応  
 ！新たな感染症や大規模災害    ！デジタル化の進展  
 → **将来の予測が困難な「非連続の時代」**

×前例踏襲・横並びの施策  
 ○**新たな施策に積極果敢に挑戦**

# 茨城県総合計画：4つの「チャレンジ」

<p>I 新しい豊かさ</p>	<p>力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育む  <b>PICK UP!</b>    <b>カーボンニュートラル社会</b></p>	
<p>II 新しい安心安全</p>	<p>医療・福祉・防災など県民の命を守る生活基盤を築く  <b>PICK UP!</b>    <b>人生百年時代を見据えた健康づくり</b></p>	
<p>III 新しい人財育成</p>	<p>未来をつくる人財を育て、日本一子を産み育てやすい県へ  <b>PICK UP!</b>    <b>活力と魅力ある学校づくり</b></p>	
<p>IV 新しい夢・希望</p>	<p>県内外から選ばれる魅力ある茨城づくり  <b>PICK UP!</b>    <b>茨城の魅力を世界へ</b></p>	





## 2. 仕事の環境



# 県庁の働き方改革を推進

## ① 長時間労働の削減

時間外勤務の縮減、年次休暇の取得について**目標を定めて推進中**

職員1人1月当たりの 時間外勤務時間	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標
	11.3	11.3	12.2	11.0	11.4	<b>11.5</b>	10.5時間

年次休暇の取得日数 (毎年20日付与)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標
	11.6	12.1	11.7	11.5	12.4	<b>12.0</b>	14日/年

※このほか、夏季特別休暇が5日付与されます。

## ② 柔軟な働き方の推進

個々のライフスタイルに合わせた働き方の実現 → **時差出勤・テレワーク・フレックス**

## ③ 事務の効率化

- ・会議のルール化
- ・ペーパーレス

## ④ ICTの積極的な活用

- ・電子決裁の推進
- ・RPA、AI（音声認識、画像認識）の活用



# [事例紹介] 時差出勤制度

- 自分の生活に合わせて、以下の**19パターン**から勤務時間を選択
- 1日単位で利用可

区分	勤務時間
早出①	6:30~15:15
早出②	6:45~15:30
早出③	7:00~15:45
早出④	7:15~16:00
早出⑤	7:30~16:15
早出⑥	7:45~16:30
早出⑦	8:00~16:45
早出⑧	8:15~17:00
通常	8:30~17:15

区分	勤務時間
遅出①	8:45 ~ 17:30
遅出②	9:00 ~ 17:45
遅出③	9:15 ~ 18:00
遅出④	9:30 ~ 18:15
遅出⑤	10:00 ~ 18:45
遅出⑥	10:30 ~ 19:15
遅出⑦	11:00 ~ 19:45
遅出⑧	12:00 ~ 20:45
遅出⑨	12:30 ~ 21:15
遅出⑩	13:00 ~ 21:45

- ✓ 全国トップクラスの柔軟な制度
- ✓ 使いやすさ抜群！  
職員の半数以上が利用！

# [事例紹介] テレワーク



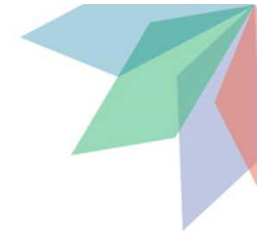
- ✓ 在宅勤務、モバイルワークなど、場所にとらわれない柔軟な働き方
- ✓ 週4日までOK

区分	内容
在宅勤務	自宅等で個人のP Cを使用 (職場のP Cをリモート操作)
サテライト オフィス	各地域の県民センター等の出先機関にあるP C等を利用
モバイル ワーク	出張中などに、薄型パソコン、タブレット等を活用



- ✓ 通勤時間なし！時間を有効活用できる。

# [事例紹介] フレックスタイム制



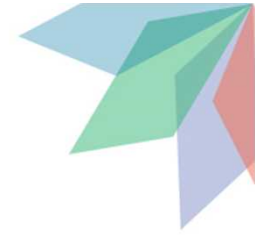
- 1～4週間の期間で、合計の勤務時間を変えずに1日当たりの勤務時間を変更可（選択的週休3日も可）
- 育児、自己啓発、副業、通院付き添いなどに活用可  
※公務の運営に支障がない範囲に限ります。

活用イメージ【参考：1週間で38時間45分（7時間45分×5日）で割り振った場合】



※コアタイム：1日のうち必ず勤務する時間(週休日を除く)

✓ 令和6年4月から導入した先進的な制度！



# 配置換え

- **採用時の配属先**

最終合格後に意向調査（県庁・出先のどちらもあり得る）

- **異動に関する希望調査**

年1回実施（業務内容、勤務地等の本人の希望に配慮）

- **配置換のサイクル**

3～5年が目安（入庁後10年程度は様々な仕事を経験）

**熱意ある職員を希望業務に配置する公募制度もあり！**

- ① **業務提示型公募**
- ② **職員提案型公募**


**観光誘客、子育て支援、eスポーツ推進など毎年約40業務程度で募集が行われます。海外への派遣もあります！**

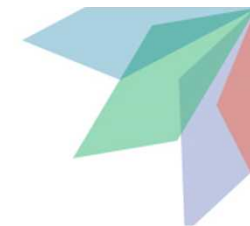
**職員自ら取り組みたい課題や業務を提案することができます！**



# 入庁後のキャリア形成

勤務成績に基づき、上位の職に昇任

主な役職名	主な年代	任される業務・役割	割合
主事・技師	20代	各担当業務を持つ（1年目から）	25%
主任	30代前半～	担当業務が高度化・複雑化	14%
係長	30代後半～		26%
課長補佐	40代前半～	グループの長として、部下と上司の調整役を担う	27%
課長	40代後半～	課を統率・課の課題の判断・指示 部下の育成・良好な職場環境を形成	7%
次長・部長	50代～	部局の重要課題の判断、方針策定	1%



# 入庁後の経歴例（事務職）

	時期	配属先	主な業務内容	役職
1	1～3年目	行方 <b>県税</b> 事務所	<b>滞納整理</b> 業務（預金差押等）	主事
2	4～5年目	総務部 <b>税務</b> 課	<b>県税の賦課</b> 業務（自動車税納税通知書の発送等）	主事
3	6～8年目	土浦 <b>土木</b> 事務所	<b>用地取得</b> 業務（道路拡幅等に係る用地買収）	主事 主任
4	9～11年目	企画部事業推進課 産業戦略部 <b>産業基盤</b> 課	出資法人の <b>指導監督</b> 鹿島臨海工業地帯等の <b>企業誘致</b> （工業団地の販売等）	主任
5	12～14年目	保健医療部 <b>医療</b> 人材課	医学部大学生向け <b>修学資金の貸与</b> 、 <b>キャリア形成支援</b> （イベント開催等）	主任 係長
6	15年目	<b>人事</b> 委員会事務局	<b>職員採用試験</b> 等の執行 受験者確保対策	係長

## Check Point!

- ✓ 概ね3～5年のサイクルで、新しい仕事を経験していく
- ✓ 経験を重ねるごとに、それぞれの適性・関心に応じた自分らしいキャリアが形成されていく





# 女性職員の登用

- ✓ 女性職員の登用拡大は、組織の能力を十分に引き出すために不可欠と認識し、積極な登用を推進中

## ● 各役職段階の女性職員割合

	R2.4時点	直近実績 (R5.4月発令)	R7目標
課長級以上	9.4%	13.1%	26%
課長補佐級	21.9%	27.4%	37%
係長級	34.3%	35.4%	43%

## ● 採用者に占める女性職員割合

	R1年度採用者	直近実績 (R4年度採用者)	R7目標
採用者全体	44.0%	47.1%	50%
うち大卒程度	29.0%	39.2%	40%

※ 知事部局のデータ (出典：茨城県職員子育て応援・女性活躍推進プラン取組状況等)



# 給与等

## ● 初任給

試験区分	給料月額
大学卒業程度	214,544円
高校卒業程度	181,154円

R6.4.1現在

6%の地域手当を含んだ額。

大学/高校卒業後の学歴や職歴がある場合には、一定額を加算

## ● 各種手当

通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給

## ● 期末手当・勤勉手当（ボーナス）

年2回（6月と12月） ※R5年度は年間4.5月分

## ● 定期昇給

勤務成績に応じて、原則年1回の昇給あり

※ 毎年度、民間給与の支給状況等を踏まえ、人事委員会勧告による給与改定あり



# 3. 採用試験

# 令和6年度採用試験の主な変更点

## 【高校卒業程度】



- **技術系職種（機械・土木・農業）の最終合格発表前倒し**
  - ✓ 第1次試験・第2次試験の区分を廃止
  - ✓ 最終合格発表を約1ヶ月前倒しし、10月8日(火)に最終合格発表

※ **以下の職種（事務職）は、令和5年度と同様の試験日程・試験科目で実施します。** 11月6日(水)に最終合格発表

- ・ 事務（知事部局等）
- ・ 事務（警察本部）
- ・ 小中学校事務

# 県職員採用試験の概要（令和6年度）

試験区分		大学卒業程度	高校卒業程度
受験資格 (採用時年齢)		22～29歳 (薬剤師：24～34歳)	18～21歳
職種	事務職	事務（知事部局等）、 事務（警察本部）	事務（知事部局等）、 事務（警察本部）、 小中学校事務
	技術職	電気（知事部局）、電気（警察本部）、 機械、土木、建築、 化学、薬剤師、管理栄養士、 農業、農業土木、畜産、林業、 水産、福祉、心理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     H27以来9年ぶりの募集                 </div> <b>機械</b> 、土木、農業

- ※ 一部の職種では、資格・免許の取得（見込を含む。）を必要とします。
- ※ 年度によって募集しない職種もあります。
- ※ 社会人経験者採用選考や障害者を対象とした採用選考も実施しています。



# 試験スケジュール（令和6年度）

試験区分	職種	試験案内HP掲載	申込受付	第1次試験	第2次試験	最終合格発表
高校卒業程度	事務職 〔知事部局等 警察本部 小中学校事務〕	4月24日	7月1日 ～ 8月21日	○教養試験・ 作文試験 9月29日  ※第1次合格 発表10月8日	○適性検査 10月15日 ○口述試験 10月16日 ～31日 ※指定する1日	11月6日
	技術系 職種 〔機械 土木 農業〕			○教養試験・専門試験・ 作文試験 9月29日 ○口述試験・適性検査 9月下旬～10月上旬 ※指定する1日	10月8日	

※ 申込はインターネットのみ（PC又はスマートフォンから）

# 試験方法（令和6年度高卒程度試験）



試験科目		内容	配点
教養試験	択一式 (2時間)	50問出題全問必須解答	【事務職】 教養300点
専門試験	択一式 (2時間)	40問出題全問解答 ※ <u>技術系職種のみ実施</u>	【技術職】 教養150点 専門150点
作文試験	500～800字 (60分)	【R5課題】最近関心を持ったニュースを一つ取り上げ、それに対するあなたの考えを述べなさい。	50点
口述試験	個別面接	1回実施	350点
適性検査	1種類		—

※ 問題例をホームページに掲載しています。

<http://www.pref.ibaraki.jp/jinjiiin/saiyojyoho.html>

# 令和5年度試験実施状況（高卒程度）



		採用予定 人員 名程度	申込者 人	第1次試験		第2次試験		競争率 倍
				受験者 人	合格者 人	受験者 人	合格者 人	
高校卒業程度	事務(知事部局等)	30	190	166	111	96	51	3.3
	事務(警察本部)	4	33	27	17	14	8	3.4
	電気(知事部局等)	2	1	1	1	0	0	—
	電気(警察本部)	1	2	2	2	2	0	—
	土木	7	9	8	6	6	6	1.3
	農業	1	4	4	4	4	2	2.0
	事務(小中学校)	16	90	83	48	45	21	4.0
※	(特別試験)土木	2	3	2	2	2	1	2.0



# 教養試験・専門試験のポイント



R5高卒程度試験実施結果

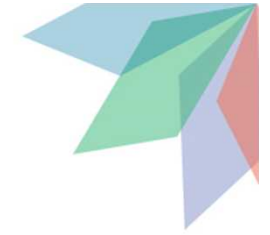
- 配点
  - 事務職:教養試験300点
  - 技術職:教養試験150点、専門試験150点
- 基準点（満点の4割。ただし、3割までの範囲内で引き下げる場合があります）を下回ると不合格になります。
- R5事務（知事部局等）における第1次試験合格者の最低得点は、174点（満点300点の58%）

## <ポイント>

⇒満点を取る必要はありません。

⇒口述試験で挽回することは可能です。

試験区分（職種）	採用予定人員	申込者 A 人	合格者の最低得点	
			第1次試験合格者 点	最終合格者 点 <small>（1次及び2次の合計点）</small>
事務	知事部局等	30名程度	174	420
	警察本部	4名程度	132	372
事務計		34名程度		
県職員	知事部局等	2名程度	合格者少数のため非公表	-
	警察本部	1名程度	合格者少数のため非公表	-
	土木	7名程度	130.50	334.50
	農業	1名程度	125.25	合格者少数のため非公表
事務以外計		11名程度		
県職員計		45名程度		
校小職中員学	事務	16名程度	162	422
総計		61名程度		

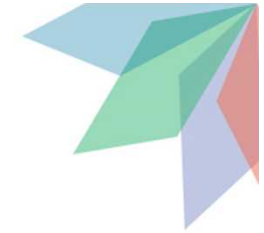


# 作文試験のポイント

- 配点  
50点（事務職・技術職共通）
- 基準点（満点の4割）を下回ると不合格になります。
- 制限字数があります（500字以上800字以内）

## ＜ポイント＞

- ⇒指定された字数を守りましょう。
- ⇒試験時間内に最後まで書き終えるようにしましょう。
- ⇒誤字脱字を減らす、段落を分けるなどを心がけましょう。
- ⇒配点は高くないですが、一定数、基準点を下回る受験者がいますので、意外と重要です。



# 口述試験のポイント

- 配点  
350点（事務職・技術職共通）
- 基準点（満点の5割）を下回ると不合格になります。
- 個別面接1回（30分程度）

## ＜ポイント＞

- ⇒面接票は、全ての項目（志望動機、部活動、長所短所など）を記載して自己アピールするようにしましょう。
- ⇒自分の強みは何かなどをはっきり言えると良いと思います。
- ⇒面接態度や身だしなみも地味に重要です。
- ⇒面接の質問例
  - ・ 学校生活で特に力をいれたことはなんですか。
  - ・ 自分のどういう点が公務員に向いていると思いますか。

# 県職員に求められるもの…



目指す姿 = 「挑戦する県庁」 への変革

## 求められる職員像

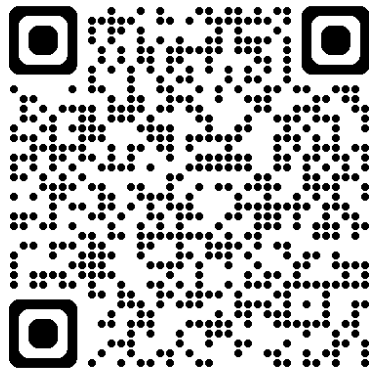
挑戦	時代に応じた県民ニーズを的確に捉え、失敗を恐れず果敢に挑戦する職員
スピード感	未来を展望した政策展開につながるよう、常にスピード感を持ち、行政課題に対応する職員
幅広い視野と発想力	固定観念にとらわれない新たな発想を持ち、将来の予測が困難な「非連続の時代」に対応する職員



# もっと詳しい情報を知りたい方は・・・

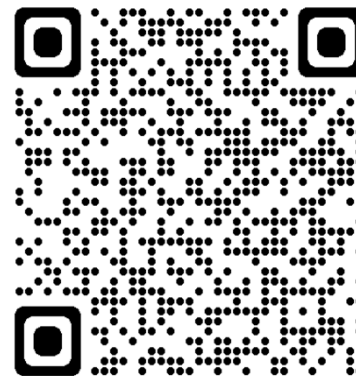
- 職員採用パンフレット2024

職員の仕事ぶり、茨城県職員が働きやすい理由、新規採用職員アンケートの結果などを紹介！



- 茨城県職員の働き方紹介

茨城県職員の働き方紹介  
「新しい茨城をつくる」



茨城県職員の働き方紹介  
「働きやすさ×働きがい」

